

公 共

第1問 次の文章を読み、以下の問に答えよ。

近代以前の社会に a 青年期 は存在せず、子どもはある程度成長すると、 b 大人になるための儀式 を行い、すぐに大人になっていた。近代の産業革命に伴い、学校教育が制度化されていく中で、職業や社会生活に必要な知識や技能を身につける準備期間として、青年期がひとつの発達段階としてみなされるようになってきたのである。

青年期の始まりは小学校高学年から中学生の頃であるとされている。この時期には身体が急激に成長し、男女の特徴が現れてくる (1) が始まる。身体の急激な変化は自己意識や他者意識を高めることにつながる。また、 c それまで当たり前と 思っていた大人の提示する価値観に疑問を持ち、親や教師に反発し、ときに攻撃的・暴力的になったりする。こういった過程の中で、自分は何者か、どのように生きていくのかを問い、模索していくのである。心理学者エリクソンは、青年期の課題を (2) の確立とした。これは、自分はどんな人間かという認識をもつということであるが、青年期に確立されて終わるわけではなく、その後何度も問い直しがなされるとされている。

どのように生きるかという問いに対する答えは簡単ではないが、社会的役割を得ることもその一つであろう。これは職業選択と関係する。職業を得ることが青年期の終わりとされていた時代もあったが、現代はそう簡単にはいかない。進学率の上昇に伴う就学期間の延長の他、 (3) となって定職に就かずパートやアルバイトで働く者や、無職で就労に向けた活動もしていない (4) と呼ばれる者の存在もある。就職後も親と同居して基本的な生活は親に依存している (5) と呼ばれる者もいる。 d 2022年4月に民法が改正され、成年年齢が18歳に引き下げられたが、何をもって「大人」とするかは実際には難しいのである。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）にあてはまる適切な語句を、それぞれ以下の語群から選び、その記号を答えよ。

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| ア. フリーター | イ. 第一次性徴 | ウ. 発達加速化現象 |
| エ. 独身貴族 | オ. 中二病 | カ. アパシー |
| キ. 第二次性徴 | ク. 共依存 | ケ. 対人恐怖症 |
| コ. ニート | サ. 個性 | シ. ひきこもり |
| ス. アイデンティティ | セ. 自己中心性 | ソ. パラサイト・シングル |

問2 下線部 a について、以下のア～エから正しいものを**2つ**選び、その記号を答えよ。

- ア. フランスの思想家ルソーは、子ども集団にも大人集団にも安定した帰属意識をもてないことから、青年を「マージナル・マン」と呼んだ。
- イ. 社会人としての責任や義務がある程度猶予されていることから、アメリカの心理学者エリクソンは青年期を「モラトリアム」の時期ととらえた。
- ウ. ドイツの心理学者レヴィンは、母親の胎内から生まれる第一の誕生に対して、自我に目覚める青年期を「第二の誕生」ととらえた。
- エ. アメリカの心理学者ホリングワースは、青年期が大人の保護や監督から離れ、自立しようとすることを「心理的離乳」と呼んだ。

問3 下線部 b の儀式を一般に何というか、答えよ。

問4 下線部 c のような時期のことを何というか、答えよ。

問5 下線部 d に関して、以下のア～オのうち、18歳で法律的に可能なものに

○、可能でないものに×をつけよ。

ア. 10年有効のパスポートを取得する

イ. 結婚する

ウ. 養子を迎える

エ. クレジットカードをつくることのできる

オ. 競馬の投票券を購入できる

第2問 次の文章を読み、以下の問に答えよ。

外交は、国家間の利益を調整し、国際紛争を未然に防ぐための手段である。

(1) は、外交や貿易に関する国際社会のルールであり、領土問題や紛争が生じた際の解決の指針となる。(1) は、国家間で合意した (2) と、各国の慣行が蓄積されてできた (3) からなる。(3) の中には、外交特権のように成文化されたものもある。

国家間の紛争解決のために、様々な国際機関が設立されている。1945年に誕生した国際連合は、第二次世界大戦における国際連盟の失敗をうけて、(4) を強化している。まず、戦争だけではなく、武力行使全般を禁止した。そして、15カ国からなる (5) が国際的な平和維持に責任を持つこととした。このうち、アメリカ・ソ連（現ロシア）・イギリス・フランス・中国の5カ国が常任理事国であり、軍事制裁などの強制措置をとるには常任理事国全ての賛成が必要となる。これを (6) といい、(4) に実効性をもたせるための仕組みである。しかし、常任理事国のうち一国でも拒否権を行使すれば行動が取れないため、実際に強制措置がとられたことはほとんどなかった。このため、制裁ではなく中立的な立場から国連加盟国が軍を派遣する (7) が行われるようになった。

現代の国際的な紛争の背景には、民族問題が大きく関わっている。代表的なものとして、パレスチナ問題がある。長年ヨーロッパなどで迫害されてきたユダヤ人は、第二次世界大戦後にパレスチナの地に (8) を建国した。このため、先住のアラブ人は故郷を追われ、自らの国家樹立を要求して (8) との間で紛争や対立が生じている。他にも、チェチェン、ソマリア、ルワンダ、ミャンマーなどで紛争や少数民族の虐殺が行われた。こうした民族対立の結果、大量の a 難民が発生し、国際社会を不安定にする要因になっている。

第二次世界大戦以降の b 日本の安全保障 は、日本国憲法前文に示された平和主義の理念に基づいており、相手から武力攻撃を受けたときに初めて防衛力を行使するという (9) に徹することを原則としている。また、アメリカとの間に結ばれた (10) も、日本の安全保障体制の柱となっている。また、日本の外交については、 c 外交の3原則 に基づいて進められている。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる適切な語句を、それぞれ以下の語群から選び、その記号を答えよ。

- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| ア. 協定 | イ. 大国一致の原則 | ウ. ヨルダン |
| エ. 平和維持活動 | オ. 条約 | カ. 安全保障理事会 |
| キ. 専守防衛 | ク. 日米安全保障条約 | ケ. 国際法 |
| コ. 国連軍の派遣 | サ. 同盟関係 | シ. 日米地位協定 |
| ス. 実定法 | セ. 集団安全保障 | ソ. イスラエル |
| タ. 国際慣習法 | チ. 戦争の放棄 | |

問2 下線部 a の難民について、移民との違いを説明せよ。

問3 下線部 b の日本の安全保障について、近年は大量破壊兵器やテロの脅威が増す中で変容してきた。それについて、以下の文から正しいものを **2つ** 選び、その番号を答えよ。

1. 武力攻撃事態対処法の改正によって、集団的自衛権の行使を含めて対応できるようになった。
2. 他国間の紛争に自衛隊を派遣し、武力行使を含めた貢献ができるようになった。
3. 平和貢献や自国の安全保障に役立つことを条件として、武器輸出や共同開発が認められるようになった。
4. 核兵器の保持はできないが、開発は認められるようになった。

問4 下線部cの外交の3原則について、以下の語群から正しいものを**3つ**選び、その記号を答えよ。

ア. アジアの一員としての立場の維持

イ. 領土の防衛

ウ. 国連中心主義

エ. 東アジアの安定

オ. 西側諸国との協調

カ. 自国第一主義

第3問 次の文章を読み、以下の問に答えよ。

政府が国民から a 税金を徴収することで資金を調達し、それをさまざまな政策を通して社会に還元していくことを財政という。財政には主に3つの役割、(1) 資源配分、(2) 所得の再分配、(3) 景気の安定、がある。

資源配分とは、政府の資金を公共の目的で配分することをいう。 b 公共財や c 社会資本がその対象である。

所得の再分配とは、経済活動の結果として生じた d 所得の格差を調整するために税金の徴収額を調整したり、低所得者や高齢者など社会的弱者を対象に e 社会保障を手厚くしたりすることである。

景気の安定とは、景気の変化を安定させるための政策を実施することである。例えば不況によって消費が滞る状態なら減税によって国民の所得を増やし、消費の増加を促して景気を刺激する。ただし税金が減れば政府の資金も減ることになるので、注意が必要となる。他にも f 政府が企業に社会資本の整備などを発注し、市場における需要を増やすといった政策が挙げられる。

政府が徴収する税金には、直接税と間接税がある。直接税には個人の所得に課せられる所得税や、企業など法人の利潤に課せられる法人税などがある。先に述べたように所得税には d 所得の格差を調整するために税金の徴収額を調整する制度が導入されており、所得の再分配の機能を部分的に担っている。間接税には物品やサービスなどを購入する際に課せられる消費税や、アルコール類に課せられる酒税などがある。

問1 下線部 a について、政府の収入および支出の事を特に何とよいか。適切な組み合わせを、以下のア～エから選び、その記号を答えよ。

- ア. 一般会計と特別会計
- イ. 歳入と歳出
- ウ. 予算と決算
- エ. 租税と国債

問2 下線部 b について、公共財を具体的に1つ答えよ。

問3 下線部 c について、社会資本を具体的に1つ答えよ。

問4 下線部 d について、税金の徴収額を調整する仕組みの名称を以下のア～エから1つ選び、その記号を答えよ。

- ア. 累積課税
- イ. 後進課税
- ウ. 累進課税
- エ. 総合課税

問5 下線部 e について、社会保障の4つの柱に含まれないものを以下のア～オから1つ選び、その記号を答えよ。

- ア. 社会保険
- イ. 生命保険
- ウ. 社会福祉
- エ. 公的扶助
- オ. 公衆衛生

問6 下線部 f を表す適切な用語を、漢字4文字で答えよ。